

feel the MMS

VOL.8 令和3年1月1日発行 発行・編集/株式会社マグナムメイドサービス 経営企画室 制作・編集協力/株式会社マガジンス

発行所/株式会社マグナムメイドサービス「feel the MMS」編集室 〒600-8351 京都府京都市下京区高辻通堀川西入富永町685番地 MMS-I TEL.075-812-7277(代)

特集1
全国に拡大するMMSのSC

サポートセンター

特集2
独自のサービスが好評!

特別座談会
『マグナムファーム』初収穫!

ニューノーマルを拓く!

私たちの業界にも**新しい風**を――

建設業界をサポートする存在として不可欠な「揚重工事」を担う私たちMMS。

そして汗を流しこの仕事を支える現場メンバー。

私たちはより多くの人に揚重の仕事を知ってもらうため

こんな動画をつくりました。

※詳しくは3ページをご覧ください。



特集1

全国に拡大するMMSのSC(=サポートセンター)

『藤が丘SC』『広島SC』を矢継ぎ早にオープン。全国の中核都市の建設現場を力強くサポート!

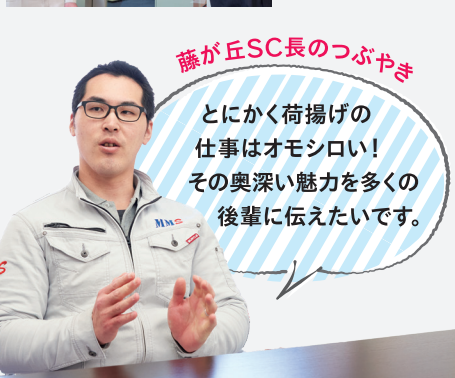
あらゆることに新しい枠組が求められる、“ニューノーマルの時代”。より迅速に全国の建設サポートのニーズにお応えするべく、新拠点を続々と開設!

new 1 藤が丘SC 東海エリア

まちの再開に向けて
建設ラッシュに対応



藤が丘SCの新しい事務所に、東海エリアを支える精鋭メンバーが集結! 写真左から、取締役・SC事業部長 多賀敬亮、東海受注センター長 次長 中林慎二、藤が丘SC長 村井稔、東海受注センター 波岡由佳。



藤が丘SC長 村井 稔(29歳)
18歳でMMSに入社。先輩たちが機材と重量物を運ぶ姿に憧れ、現場で揚重のスキルを磨く。26歳で名駅SC長に就任。リーダー経験を活かして、2020年9月から藤が丘の初代SC長に。

一方、「関西に負けたくない、東海エリアをチームワークで盛り上げたい」と語るのは、東海受注センターの中林慎二です。「そのためエリア内の3つのSCでしっかり連携しながら、各現場のあらゆるニーズに応え、受注を増やし、それに見合う人員を確保していきます」と話します。

体が資本といわれる建設現場で、スタッフの健康と安全の管理をより強化しながら、走り始めた藤が丘SC。東海エリア活性化への期待がますます高まります。

考えていて、ようやく名駅SC長の後任が育ったことで、起ち上げが実現できました。働き方の感覚の違いなど若いスタッフとの世代ギャップを感じることもありますが、オンとオフのメリハリをつけながら積極的にコミュニケーションを取って、結束力を高めています。

3つのSCが一体となって東海エリアの受注拡大を目指す

さらに村井は「目標は、東海エリアで100人以上の人員を現場に出すこと。入社当時から誰にも負けたくないという一心でひたすら挑戦し続けてきた私の熱意を、後輩にも継承していきます!」と意気込みます。



メリハリのあるコミュニケーションで結束力のあるSCに

2012年の金山SC、2014年の名駅SC設立に続き、2020年に東海エリア3拠点目として誕生した藤が丘SC。新型コロナウイルスの影響で当初の

予定より少し遅れたものの、9月1日に満を持してオープン。少人数ながら10~40代の精鋭スタッフが在籍し、元名駅SC長の村井稔がそれを束ねます。「以前から東海エリアに拠点を増やしたいと

new 2 広島SC 中国エリア

MMSの
中国エリアで初!
新拠点誕生

スタッフが一体となってマグナムクオリティのサービスを

2020年10月、中国地方最大の都市である広島に、MMSの新しい拠点・広島SCが誕生しました。これにより、これまでは対応できなかった地域へのサービスも可能となります。「この広島SCを自分に大きな変革をもたらす場所にしたい」と話すのは、自らSC長を志願し、現職に就いた関戸勝也。「年齢や経験値の差はあっても、一斉スタートという点では全員が同期。みんなで中国エリアをマグナムで一番盛り上げたい地域にしたいんです」という言葉にも、熱さがみなぎっています。



広島SC長 関戸勝也(28歳)
2014年MMSに入社。仕事と趣味の両立のしやすさが入社動機だったが、次第にプロ意識を持つ先輩たちの真摯な姿に憧れるように。枚方SCでの勤務を経て、今年10月より広島SCの初代SC長。

step up 30

取締役 SC事業部長 多賀敬亮の思い



SC拠点網の拡大に向け独自の戦略で人員を確保さらに仕事の質を高める!

取締役 SC事業部長 多賀 敬亮(43歳)
1999年入社。現場スタッフの求人やスキルアップ・マナー教育、安全ミーティングなどを取り仕切る。

若者の心を捉えた独自の発信力と、コロナ禍の影響も相まって求人応募数が3倍に急増!

全国にMMSのネットワークを拡充するうえで欠かせないのは、何といても人材の確保です。現在は求人戦略も自社独自で行い、認知度アップを狙って、若い方の心に刺さるメッセージをSNSや動画などで発信しています。

こうした戦略の効果に加えて、コロナ禍による求人市場の変化も追い風となり、現在MMSへの応募数は昨年の約3倍にもなっています。これにより頭数だけではなく、より高い意識と能力を持つ人材が確保できるようになりました。このことは仕事の質の向上が重要となるこれからの新しい時代に向け、とても大きなことだと思っています。

お客様の視点を意識した仕事で、ますます規模を拡大!

そこで大切になってくるのが、確保した人材をいかに教育していくかということです。私が直接指揮をとるのではなく、各SC長がリーダーシップを発揮し、それぞれのやり方でMMSらしいサービスに向き合ってもらいたい。我々が現場でお客様にどんなサービスを提供し、どんな印象を与えているかを振り返り、意識して行動することが大事だと思います。

今後、飛躍の30周年に向けて最全力を入れたいのはやはり、市場規模が大きい関東エリアです。全国拠点の増加を目標に、より仕事の質を高め、一致団結、邁進していきます!

#3.

MMS拠点一覧
地域に即した、素早いサービスをお届けします。



#1.



HIP-HOPユニット『Creepy Nuts』とMMSのコラボ動画が大好評!



Creepy Nuts

https://youtu.be/_whGc2ge9m4



「ハタラクに、自由を。」——ラッパーのR-指定とDJ松永による超人気ユニット『Creepy Nuts』(クリーピーナッツ)を起用したコラボ動画が若者の心をわしづかみに! ストレートな歌詞と疾走感溢れるビートに乗せ、現場で働くMMSのスタッフたちがカッコよく、モノトーンの画面で躍動しています。

#2.

『Instagram』『LINE』などのSNSでもMMSの情報を発信中!

いまや若者にとってSNSは必須のコミュニケーションメディア。MMSでは『Instagram』や『LINE』などで求職者の方々に随時メッセージを発信し、揚重のことを知らない人にも当社とその仕事の魅力をしっかりと訴求。大きな求人効果につながっています。



当社のInstagramサイト
https://www.instagram.com/magnum_mms/

きらりと輝く女性スタッフをご紹介します!

今回は、特集1で取り上げた藤が丘SCを含む東海エリア3拠点の事務を担当する波岡由佳をご紹介します! いつもキラキラの笑顔で働く波岡の元気のモトは…?

波岡由佳(ナミオコユカ)
「東海受注センター」事務 2014年4月入社

1 あなたの仕事を教えてください。

A1 受注処理、日報管理、安全書類の作成など、東海エリアの事務全般を担当しています。

2 仕事のやりがいは何ですか?

A2 大量の書類処理をやり遂げた時の達成感です(笑)。「書類の対応が早いから、マグナムさんにお願したい」とお客様から言われた時もやりがいを感じました。

3 現場スタッフのみならずメッセージをお願いします。

A3 毎日お仕事お疲れさまです。口うるさくなることもありますが、これからもどうぞよろしくをお願いします!

先輩社員から一言

「東海受注センター」中林慎二
現場スタッフとのコミュニケーションが行き届いているので、現場からの信頼が厚いですね。丁寧な説明力も波岡さんの魅力です。

「藤が丘SC」村井 稔
みんなのお母さんのような温かさで接しながら、時にはビシッと厳しく仕事の姿勢を正してくれるところも。いつも感謝しています。

特集2

すべてはお客様のお役に立つために——独自のサービスが好評!

取引先様からのご要望にお応えし、 揚重の後の『家具組立て作業』も請け負い。

人手不足が深刻な建設現場において、できる限りお客様の子カラになりたい——！
そんなMMSの思いが、新たな業務の拡大にもつながっています。



名古屋市内に建築中の4棟・350戸の大規模マンション建設現場にて、家具組立てを担当するMMSスタッフ。
左から金山SCの高橋優樹と安藤梨紗、名駅SCの三輪ちひろと田中達也職員。



建設現場は常に職人や現場監督者の人手が足りないうえ、最近では働き方改革などもあって、多くのお客様が頭を悩ませておられます。通常MMSが請け負っているのは、資材搬入・揚重のほか施工補助やコンクリート工事などの軽作業ですが、お客様のお困りごとを解決するべく、最近では従来の担当業務を超えて幅広く対応。MMSが26年間モットーとして続けている“最強のお手伝い”のポリシーで、工期がスムーズに進行するよう尽力しています。ここ東海エリアでは、約5年前から現場での家具組立て作業を代行し、お客様の業務軽減に貢献しています。



MMSなら家具資材を搬入後そのまま組立て作業ができるため、時間のロスがなく現場の進行もスムーズ。

組立ての現場では女性スタッフも大活躍！大事なのは体力よりモノづくりのセンスだとか。

入居者様が直接ご使用になる家具は、施工の精度もシビア。丁寧な作業が必要です。



東海受注センター長 次長のつぶやき

お困りがあれば、
気軽にご相談いただける
存在でありたいです！



東海受注センター長 次長 中林 慎二 (33歳)
家具組立ての作業は、揚重が体力的に負担になってきたスタッフや女性スタッフも活躍できる業務です。内外装だけでなく、施工後の検査やリペアなど、お客様のお役に立てる作業はまだだと考えています。

取引先様の声

幅広くお手伝いいただき、
対応もスピーディで
本当に助かっています。

株式会社 千田工業

名古屋支店 工事部部长
栗木 大祐 様

株式会社 千田工業

飛騨の匠の精神を受け継ぐ高い技術力を活かし、住宅用内装造作材の製造・施工をはじめ、建築工事一式、家具と建具の工事を行う。



マンション建設における弊社の業務はとても多岐にわたっていますので、これまで限られた人員でまかなうのに苦労していました。現在、MMSさんには家具組立てだけでなく、私の不在時の監督対応や検査の立ち合いなどもお手伝いいただき、とても助かっています。問題があったときも事後報告ではなく即ご対応いただけるのがありがたいですね。今後、施工技術を習得した人がさらに増えることを願っています。

「伝えた要望などが、すぐスタッフ全員に行き渡っているの、安心です」と栗木様(写真左)。右はMMSの中林。

2020年度 MMS『安全表彰』実施

「MMS安全協議会」は、全スタッフの安全意識向上を目的に、毎年秋に実施している一大決起集会です。
今年は新型コロナウイルスの影響で、5つのエリアごとに『安全表彰』を実施。より安全な職場環境作り貢献した社員を表彰しました。

「安全」を徹底し、 自分だけでなく大切な人を守る！



京滋エリア

10月10日(土)
会場:京都本社(京都市)

●最優秀者
前列左
竹内 一希 (たけうち かずき)
／草津SC

●安全表彰者
左上から
柴田 悠也 (しばた ゆうや) / 草津SC 揚重
岡村 駿辰 (おかむら しゅんたつ) / 桂SC
片山 聡 (かたやまさとし) / 京都SC 軽作業
左下2人目から
寺原 教時 (てらはら のりとき) / 山科SC
宮元 佳亮 (みやもと けいすけ) / 草津SC 軽作業
采野 れん (うのの れん) / 京都SC 揚重



阪神エリア

10月10日(土)
会場:京都本社(京都市)

●安全表彰者
左から
寺北 侑斗 (てらきた ゆうと) / 枚方SC
鮫島 幸浩 (さめしま ゆきひろ) / 天王寺SC
櫻井 裕明 (さくらい ひろあき) / 尼崎SC

中尾 輝彦 (なかお あきひこ) / 梅田SC
寺井 拓海 (てらい たくみ) / 難波SC



東海エリア

9月25日(金)
会場:名駅SC(名古屋市)

●安全表彰者
網村 剛 (きむら つよし) / 藤が丘SC
岡井 悠樹 (おかい ゆうき) / 金山SC
堀 恭平 (ほり きょうへい) / 名駅SC

九州エリア

11月12日(木)
会場:福岡SC(福岡市)

●安全表彰者
龍田 真 (たつた まこと)
／福岡SC



11月12日(木)
会場:熊本SC(熊本市)

●安全表彰者
水谷 敬雄 (みずたに としお)
／熊本SC



関東エリア

10月2日(金)
会場:渋谷SC(東京都)

●安全表彰者
實川 大介 (じつかわ だいすけ) / 池袋SC
大塚 光一 (おおつか こういち) / 渋谷SC

このページでは、MMSの“旬”の話題をご紹介します。

MMS topics [マグナム・トピックス]

特別座談会

新時代、企業が行う農業活動『マグナムファーム』初収穫！



京都を起点に展開するMMSは、新たな試みとして地元である京都産のお米作りに挑戦。悪戦苦闘の末に予想以上の豊作となった秋の初収穫を終えて、ご協力をいただいた京丹波町の方々を迎え、これまでを振り返りました。



MMS farm

マグナムファーム
京都府中部の京丹波町で5反の田んぼをお借りし、給水の管理など地域のご協力を得ながら稲作を実施。初収穫の後は、二ク栽培にも挑戦中です。

小林自らコンバインを操作。初年度は2t以上の収穫となりました。

飛び入り参加した左から常務取締役の大橋尚幸、経営企画室の中村高大も含め、座談会は始終和気あいあいとした雰囲気でも盛り上がりしました。



京丹波長老米



“一飯の恩”

米袋のデザインもMMSオリジナル。ネーミングは社内公募を行い、この「一飯の恩」に決定。MMSのモットーである「感恩戴得」(心からありがたく思っ感謝するという意)を感じさせる名称に。



マグナムメイドサービス 代表取締役
小林 毅 様



京丹波町 大迫集落協定代表
大田 嬉好 様



京丹波町 参事(事業担当)
山森 英二 様



京丹波町 にぎわい創生課 課長
栗林 英治 様

お米作りの苦勞を体感すると美味しさも格別！

小林 この取り組みは、弊社が運営する『めんきや』で「京都産のお米を出そう」「だったら自分たちで作ろう」という発想からスタートしたんです。

山森 京丹波町にご縁をいただけてうれしいです。2019年夏の現地調査から始まり、二度の説明会でしっかり地域の方々の了承を得ていただき、トントン拍子で今春からは本格稼働でしたね。

小林 耕うんから秋の稲刈りまであっという間でした。自分たちで育てたお米は、美味しさもひとしおですね。

大田 今年は天候に恵まれて本当に良かったです。一部イノシシに荒らされて稲刈りを前倒しましたが、我々から見たら上出来ですよ！

栗林 社長自らトラクターに乗って代掻きされて、地元では話題でしたよ。ぬかるみにはまって、みんなで引っ張り出しましたね(笑)。

大田 御社の中村さんや大橋さんも暑い時季にも毎週来られて、一生懸命頑張っておられて感心しましたよ。

小林 行くとたびに地元の皆さんに声をかけていただいて、感謝しています。

地域とのふれあいで得た学びを未来につなげる

山森 京丹波町では近年高齢化による耕作放棄地が問題になっているので、こうして活用いただけてありがたいです。それも利益追求でないという点で、新時代の取り組みですよ。

小林 社員の家族に美味しいお米を提供したいという福利厚生面の面もありました。地域貢献にもつながって、本当に良かったです。

山森 昨日も地元の祭りに中村さんが来てくださって、皆さん喜んでおられました。こうした地域と企業の交流は、次の新たな試みにつながっていくそうですね。



小林 今年はコロナ禍で断念したのですが、来年は社員の子どもたちにも田植えや稲刈りを経験させてあげたい。今の子どもたちは、お米がどうやって作られているか知りませんから。食べ物を粗末にせず、米粒に感謝できるようになって欲しいです。

栗林 そうですね。これから毎年もっともっと稲作の経験を積んでいただけたら…(笑)。

小林 はい。来年は稲を倍にして挑みます！引き続き、地域の方からお米作りを学びながら、みんなで力を合わせて育て、生み出していく素晴らしさを体感していきたいです。これからもよろしくお願います！

編集後記

▶今号では「ニューノーマルを拓く!」をテーマに、新しい平時を見据え雇用を創出する取り組み(YouTube動画・地方中核都市への出店)や、女性も活躍できる新サービスによる働き方改革、福利厚生・地方創生を目的とした農業活動を紹介させていただきました。ニューノーマルを拓くMMSを感じて(feel)いただけたら幸いです。(常務取締役・大橋尚幸)

